

はしごの事故

事故の概要

【事例①】梁(はり)にはしごをかけて昇っているときに転落し、死亡した。

【事例②】2連式のはしごが傾いたため転倒し、腕に打撲を負った。



はしごがぐらついて転落する瞬間
(再現実験)

事故の原因

【事例①】寝かせ過ぎた状態で立て掛け、また、はしご上端の掛かりも少なかつたため、はしごがたわんで梁から外れたものです。

【事例②】はしご上部をひさしに引っ掛け、下はしごを引いて角度を調整した際、上はしごが伸びてロックが解除され、ひさしから外れたものです。



事故防止のために

- ◆立て掛け角度は約75°にしてください。寝かせ過ぎても立て過ぎても倒れやすくなります。
- ◆はしご上端の掛かりは十分に確保してください。
- ◆傾斜のある地面や滑りやすい場所に設置しないでください。
- ◆昇降時は補助者が支えてください。
- ◆はしご兼用脚立をはしごとして使うときは、裏面を使用しないでください。

